

Mojolicious は、perl の次世代 Web フレームワーク (WAF) です。

同じく WAF として有名な Catalyst と同じ作者によって一から新しく開発されました。

Ruby on Rails や新しい WAF の流れを受けながら、WebSocket やプリフォークサーバなど、新しい技術と、モダン perl(今どきの perl) を活かして、Web 開発が手軽に行えるように設計されています。

(さらなる開発も積極的に進んでおり、HTTP/2.0 のサポートもまもなく行われる予定(参照))

"昔、perl で CGI 開発をしようとしたが挫折した"... という人にもおすすめできるかもしれません。

(CGI 全盛期のそれよりもずっと新しく、手軽になっています。PHP や Ruby を利用している人でも基本的に同じため、扱いやすいかと思えます。)

MVC モデルベースでありながら、モデルレイヤーは不可知であり、しぼりが少なく、開発者が自由に、好きな perl のモジュールを組み合わせて活用できるようになっています。

Perl カテゴリ

Perl に関するページについては Category/Perl も御覧ください。

インストール

CPAN で一発です。

```
$ cpan Mojolicious
```

参照: Mojolicious のインストール / Mojolicious リファレンス - サンプルコードによる Perl 入門

日本語ドキュメント

- ・ Mojolicious ドキュメント 日本語訳
- ・ Mojolicious リファレンス

また、書籍では「もっと自在にサーバを使い倒す 業務に役立つ Perl」という本が 2012 年に出版され、Mojolicious の基本が扱われています。

Morbo

Morbo(Mojolicious::Server::Morbo) は、Mojolicious に含まれる開発用サーバ(参照)。

Ruby でいうところの WEBrick などに近いものと考えられます。

Morbo を単なる簡易サーバとして使う

perl などは関係なしに、ローカル上で XMLHttpRequest などを使った開発を行いたい場合・・・何かデーモンを動作させないといけませんが、Apache のようなデーモンは大げさだというときには、morbo で手軽に代用できます。

次のようなスクリプトを配置する : (site/ は目的のディレクトリ)

daemon.pl

```
#!/usr/bin/env perl
use Mojolicious::Lite;
push @{$app->static->paths}, 'site/';
app->start('daemon');
```

これを実行すれば、localhost:3000/*** でアクセスが可能になる。

```
$ perl daemon.pl
```

Hypnotoad

Hypnotoad([Mojolicious::Server::Hypnotoad](#)) は、実運用のためのプリフォークサーバです。
ホットデプロイメントにも標準対応しています。

CGI モード / リバースプロキシを介した動作など ...

Mojolicious で開発した Web アプリケーションは、CGI として実行することもできます。

さらにその他にも、PSGI、Apache や nginx などの背後でリバースプロキシを通して扱ったり、他のアプリケーションに埋め込んだり、CPAN モジュール化することも可能です。
この点もしばりが無く、自由が効くところといえます。

参照 : [Mojolicious::Guides::Cookbook](#)
